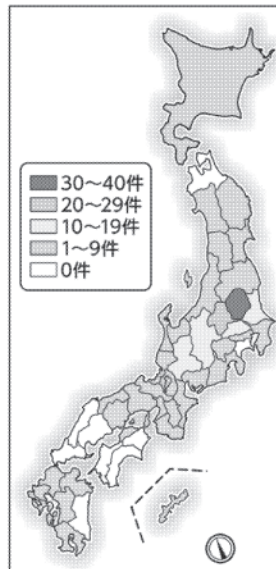


## 小学校高学年向け 年 組

(2023年9月18日付・下野新聞1面)

記事は加工しています



ダウンバーストやガストフロントの  
都道府県別の発生件数

気象庁の突風データベースを基に作成

ダウンバーストは、積乱雲から吹き下ろす強い気流が地表に衝突して起こる。ガストフロントは、積乱雲下で形成された冷たく重い空氣が暖かい空氣の側に流れ出すことで生じる。

突風事例を確認できる1991〜2023年8月のダウンバーストなどの発生事例を下野新聞社が調べた。本県で確認されたダウンバーストとガストフロントは31件で、全国で最多だった。2番目は群馬の25件で、茨城と北海道の17件、埼玉

積乱雲、発生しやすさ影響

小山市や野木町で7月、突風の一つの「ダウンバースト」が発生し多数の住宅が一部損壊するなどした被害に関連し、1991〜2023年8月に本県で発生した「ダウンバースト」と「ガストフロント」は計31件に上り、全国で最多だったことが17日までに、気象庁の突風データベースのまとめで分かった。7、8月の発生が多く、専門家は本県が積乱雲の発達しやすい地域であることを要因に挙げる。

(野中美穂<sup>のなかみ</sup>)

(野中美穂)

の15件と続き、北関東で発生が目立った。一方、青森や広島、愛媛、宮崎など9県では発生がゼロだった。

積乱雲に伴う自然現象を研究する防衛大地球海洋学こくわい科の小林文明教授（61）は「太平洋側から流れ込んだ空気が内陸で温められ、北関東の山にぶつかり上昇することで積乱雲になる。積乱雲から下降流が吹きやすい地域」と説明する。

本県の31件のうち、ダウンバーストと確定したのは218件、ガストフロントは2件。11件はどちらかが発生したものの特定はできていない。

発生場所は宇都宮や小

山、大田原など県内計14市町だった。小林教授は「雷が多発する栃木県は積乱雲が発達しやすい地域で、ダウンバーストも起こりやすいと思われる」とみる。

一方、同期間の「竜巻」の発生件数は北海道が最多の52件で、沖縄51件、高知42件と続き、本県は13件。関東では千葉18件、埼玉17件、茨城12件などだった。

9月は台風や冬の寒気が流れ込む影響で、突風が発生しやすい時期でもある。宇都宮地方気象台は「真つ黒な雲や雷の音が近づき、冷たい風が吹く場合などは激しい突風の兆候。窓や壁から離れ、頑丈な建物に避難するなどしてほしい」と注意を呼びかけている。

## 県内91年以降確認

# 設問

【1】ダウンバースト、ガストフロントの都道府県別の発生件数について、記事を読んで表に整理しましょう。

(1991年～2023年8月)

| 順位 | 都道府県 | 発生件数 |
|----|------|------|
| 1  |      |      |
| 2  |      |      |
| 3  |      |      |
| 4  |      |      |

【2】見出しの□□の中に入る言葉は何でしょうか。  
記事の言葉を用いて書きましょう。

【3】突風の発生が多い北関東地域について、小林教授はどのように説明していますか。（A）～（E）の

中に当てはまる言葉を書きましょう。

「(A) 側から流れ込んだ (B) が温められ、北関東の (C) にぶつかり上昇することで (D) になる。(D) から (E) が吹きやすい地域」

【4】宇都宮地方気象台は、どのような様子が激しい突風の兆候だと述べていますか。記事の中から25字で書き抜きましょう。

[illegible]

【5】突風や竜巻などの自然災害が発生した際には、あなたはどのように行動しますか。自分の考えを書きましょう。